



今回は、学習支援ボランティアについての報告です。

◇ 美濃加茂市の初期適応指導教室で学習支援ボランティアに参加しました。

日時：平成30年9月29日(金) 8:30 ~ 14:30

場所：美濃加茂市立古井小学校 のぞみ教室(初期適応指導教室)

参加者：3年生3名、2年生1名(希望者)

目的：外国につながる子どもたちを対象とした教育支援活動にボランティアとして参加し、国際理解・多文化共生について実践的に学ぶ。

協力：美濃加茂市教育委員会

- 今年も有志4名が、美濃加茂市内の小学校に出かけました。外国につながる子どもたちに漢字やひらがな、かたかな、算数を教える教育活動にボランティアとして参加するためです。
- 美濃加茂市は人口の約8・6%が外国人。小学校や中学校には、ブラジルやフィリピンなど、外国につながる子どもたちが多く在籍しています。
- 来日直後の子どもたちの中には、日本語が全く分からない子、日本の生活習慣がわからない子もいます。美濃加茂市はそうした子どもたちのために、初期適応指導教室(のぞみ教室)を設けています。市内の各小学校には国際・日本語教室があり、子どもたちはこの教室で日本語や算数の個人指導を受けています。
- のぞみ教室には、常時30名以上の子どもたちが在籍しています。今回の訪問日には、ブラジル国籍・フィリピン国籍・中国籍の子どもたちが学んでいました。
- 多文化共生とダイバーシティが美濃加茂市の魅力。日本人と外国人が分け隔てなく、安心して快適に生活できるよう、多文化共生推進プランが策定され、街づくりが進められています。
- 多文化共生に向けた取り組みや現状について知りたい。外国につながる子どもたちと接し、実践的に学びたい。将来、子どもと関わる仕事がしたい。このように考える4名の生徒が、ボランティアにチャレンジしました。
- 勉強や遊びを通じて、わずかな時間でしたが、子どもたちと触れ合うことができ、貴重な経験を積むことができました。関係者の皆様方ありがとうございました。



古井小学校 のぞみ教室での学習支援



児童とともに昼食をとる様子

参加した生徒の感想

<のぞみ教室>

■ 今回、のぞみ教室で学習指導をして、多くの発見がありました。最初に驚いたことは、外国籍の児童がとても多いことです。僕は今まで、小中高を通して外国人がいることが珍しい環境にいたので、教室が外国籍の生徒で一杯になっている光景に驚きました。生徒に教えるときには、英語とポルトガル語を使ったのですが、なかなか理解してもらえず、苦労しました。その時、周りを見ると、他の先生方は日本語でもしっかり理解してもらえていて、教え方や話し方をもっと磨かないといけないと思いました。今回、かわいい子どもたちと一緒に学ぶことができ、価値のある体験ができました。



中学生と指遊びをする様子

■ 生徒に1対1で勉強を教えるのは、難しい日本語では分かってもらえないので、ゆっくりはっきり言ってみたり、図に描いてみたりしましたが、とても大変でした。でも生徒はみんな頑張って学ぼうとしていて、私の説明をしっかり聞いて言葉を繰り返してくれて嬉しかったです。また、始めは話しかけても話が続けられなくて、なかなか打ち解けられませんでした。ネームプレートを見て名前を呼んでくれたり、話しなくても手遊びをしてくれるようになって、少しずつ関わることができました。初めての体験だったので緊張もあったけど、先生方の生徒への接し方からもたくさん学ぶことができ、とても良い経験になりました。のぞみ教室のみんなには、これからも楽しんで学んでいって欲しいなと思ったし、私もこれからもっと教え方などを学んで、また学習支援の取り組みに参加してみたいと思いました。



小学生への学習支援は、1対1で行われます

■ 初めて外国人の子どもと1日過ごしてみて、日本語が通じないと、とても接することが難しかったです。1対1で勉強を教えたときも、できるだけゆっくりはっきり話しかけたけれど、伝わっていないことが多かった。でも休み時間や音楽の時間はみんな楽しく遊んだり、歌ったりできてよかったです。今回、外国籍の子どもへの学習支援をしてみて、より子どもと接することに興味がわきました。とても貴重な1日を過ごせて、疲れたけれど、とても楽しかったです。



休み時間に児童と外遊びをする様子

- 今回、教師としての体験と外国人との触れ合いの体験ができてよかったです。言語が異なる相手と、上手くコミュニケーションが取れない中で教えることが予想よりも難しく、かなり困りました。教えることの難しさを実感しました。こんな体験ができてよかったと思います。



外遊びでは、古井小学校の児童とも交流しました

他にも、さまざまな形で交流を深めました。

- 日本へ来たばかりの生徒もいれば、国際・日本語教室を卒業して地域の中学校へ入る日が近い生徒もいます。中学校での話題に加われるように、日本で流行っているものを教えました。また、趣味やスポーツについて質問し合いながら、楽しく日本語を教えることができました。



中学生と、お互いに質問をし合う様子

- 最後の時間は音楽の授業でした。小学生・中学生とともに、楽器を演奏したり、手を叩いてリズムを合わせたりして楽しい時間を過ごしました。中には、音楽に合わせて踊って見せてくれる子もいました。ボランティアに参加した4人の生徒で「もみじ」を輪唱して、日本の歌を聞いてもらいました。最後は子どもたちと一緒に「believe」を合唱して締めくくりました。



太鼓やトライアングルなどの楽器、手のひらでリズムを取って、みんなで音楽を楽しみました

